

# 【平成27年度指定型研究(ヘルスリテラシー促進研究)】

## (1) 小児及び保護者の野菜摂取に関わるヘルスリテラシー向上のための教育プログラムに関する研究

### 目的

小児と保護者の野菜摂取に関わるヘルスリテラシー(HL)向上に効果的な教育プログラムの検討。

#### ①仮説設定のために

小児と保護者の野菜摂取に関わるHL向上を目的とした国内外論文の系統的レビュー。

#### ②仮説検証のために

HL向上の取組をしている小学校の小児と保護者に調査, 取組の効果を分析。

本年度は, 系統的レビューによる仮説設定と調査方法(質問紙項目)を検討。

### 方法

#### 1) 系統的レビュー(論文の探索)

- PubMed, 医学中央雑誌, CiNiiを使用
- 検索式は「対象」「野菜」「HL」の3語群を設け掛け合わせ、採択基準に従い論文を抽出。

#### 2) 調査方法(質問紙項目)の検討

採択論文0件

- 小学校の野菜摂取に関わるHL向上の取組内容の把握
- 小児と保護者への質問紙調査  
⇒総合的分析から教育プログラム実施のための根拠データを得る。  
⇒調査に向けた質問紙項目検討。

### 結果

#### 1) 系統的レビュー(論文の探索)

PubMed22件, 医学中央雑誌123件, CiNii10件

採択基準に合う論文0件

#### 2) 調査方法(質問紙項目)の検討

仮説: HLが高いほど野菜摂取に関する知識, 態度, 行動も高い。

HLの3つのレベル: 機能的, 相互作用の, 批判的リテラシー

国外では野菜摂取と機能的リテラシーの関連の報告が多いが、我が国は識字率が高いため、相互作用の, 批判的リテラシーを重視すべき

HLの項目

相互作用の・批判的リテラシーを重視して開発された食生活リテラシー尺度(5項目)

野菜摂取に関する項目

著者が以前に妥当性・信頼性を確認した野菜摂取の知識(2項目)・態度(6項目)・行動(1項目)の尺度を設定

属性

HLには世帯所得が交絡因子となる可能性 ⇒所得の項目(1項目)を設定

### 今後の検討

本年度は研究計画を立て青森県立保健大学研究倫理委員会に申請し承認を得た。次年度は調査実施の適切なフィールド確保と、十分な倫理的配慮をした研究実施方法を検討。